



豊後大野市小中一貫教育校緒方学園緒方中学校 学校だより

青雲の大志

令和6年12月24日

No. 69 文責 校長 内海真理子

【学校教育目標】自他を尊重し、論理的な思考力と豊かな表現力で、粘り強く課題解決を図る生徒の育成

2学期 終業式

校長式辞

8月26日、始業式の式辞で、私は、2学期は中学校生活の中で最も力がつく学期であり、みなさんはなりたい自分を描いて、今を精一杯、丁寧に生きていくことを期待しました。どうでしたか。自分の学力や体力、ものの見方や考え方、人としての生き方に成長を実感できていますか？実感できている人がたくさんいるといいなと思います。

私がみなさんの成長に心を揺さぶられたのは、なんといっても文化祭への取り組み。劇では、役者ばかりに目が行きがちですが、本校の全校劇は、どの係にも、その係なりの技術や集中力、創意工夫、根気強さ、責任感、そして協働する態度が求められます。各自が誠実に役割を果たして見事なステージを作り上げたことに緒方中学校の「伝統の力」を見た思いがしました。校訓の「創造・敬愛」の具体的な姿を見た思いがしました。緒方学園が目指している表現力や共生力が確かに高まっていると感じました。

また、各学年がそれぞれに取り組んだ人権学習での学びも尊いもだと感じています。偏見や差別をなくすためには、「正しい知識をもつことが大切だ」と多くの人が考えました。また、8年生は北代色さんの「夕焼けが美しい」の文章から、学ぶことで世界の見え方が変わる、美しさに気づくということも学びました。そのことを踏まえて、今日、みなさんに今一度考えてほしいことは「学ぶこと・勉強すること」の意味です。

正しい知識は誰かが与えてくれるのをじっと待っていても手に入れることはできません。書物やインターネット、専門家の話などを通して自ら学び情報を集め、集めたたくさんの情報の中からどれが信頼できるのかを論理的な思考力を駆使して見極め、判断し、正しいと思われる知識をひとまず手に入れたら、それが本当に正しいのか確かめながら上書きしていく、そのような学ぶ姿勢・学び続ける力がなければ、正しい知識は容易には手に入らないのです。これは何も人権問題だけではありません。進路選択やライフプランの設計など、誰もが向き合わなければならない重要な場面でも必要とされる学ぶ力です。

今、みんなさんが授業で、家庭で、勉強しているのは、健やかで幸せな人生を送るために必要な、この学ぶ姿勢・学び続ける力を身に付けるためでもあります。毎日の数学や英語や音楽などの教科等の学びは、その土台となる力を培うためです。

9年生、受験勉強は、学ぶ力を高める絶好の機会です。力を尽くして納得のいく取組を進めてください。受験に必要な知識や思考力・表現力だけでなく、そのあとの人生に長く影響する学ぶ姿勢・学び続ける力を受験勉強を通して確立してください。

8年生、7年生、もっと真摯な気持ちで勉強に向き合いなさい。勉強よりもゲームを優先して道が開けることは、まずありません。みんなの人生は始まったばかり。どうせ自分は、とか、自分はこれくらいだとか決めつけたり、言い訳をしたりするのは、自分の可能性に対して申し訳ないことです。

授業への向き合い方や家庭学習の習慣化で困っていることがあるなら、相談しやすい先生、どなたでもよいと思います、自分の困りをしっかり伝え、一緒に解決策を考えていただきましょう。相談することができれば、それは意欲が高まっている証拠です。先生方は喜んで力になってくれます。

冬休み、みなさんは、学びから逃げずに、幸せで健やかな人生を紡いでいく基礎力を養ってほしいと願っています。気品と力強さを判断基準に様々な誘惑に打ち勝ってください。

「早寝・早起き・朝ご飯・自分のことは自分でする」そして計画的に学習をすすめ、元気で、いい顔で、新年、1月8日に会えることを期待しています。



クリスマスブックで読書も楽しもう！

文化図書部が今年も「クリスマスブック」をプレゼントしてくれました。ラッピングしているので、どんな本なのかワクワクしますね。中には本を薦めてくれた人からのメッセージカードも入っています。本を仲立ちに新しい繋がりが生まれるかもしれません。